

卒業論文 : BC14  
Graduation Thesis

---

### 提出までの手続（3月卒業の場合）

- (1) 卒業論文を履修登録する。
  - (2) 6月第4金曜日までに、題目を学習管理システム Manaba (<https://manaba.tsukuba.ac.jp>)のコース「BC14908 卒業論文」に提出する。
  - (3) 題目に変更がある場合、10月第2水曜日に再度 Manaba に変更した題目を提出する。（変更がない場合には提出は不要）
  - (4) 10月最終水曜日又は11月第1水曜日（祝祭日の場合は火曜日又は木曜日）に中間発表会を行う。（最終的な日程は掲示にて確認のこと）中間発表会での発表は卒論提出の要件である。
  - (5) 題目に変更がある場合、11月第3水曜日までに、最終題目を Manaba に提出する。（変更がない場合には提出は不要。以後題目の変更は認められない）
  - (6) 2027年1月8日（金）午前9時から1月12日（火）午後3時までの間に、卒論を提出する（期限厳守）。最終的な論文受理のスケジュールは、掲示により周知する。
- 

### 提出までの手続（9月卒業の場合）

- (1) 2026年11月第2金曜日までに、翌年度の9月卒業を希望している旨と併せて、卒論の題目をシステム情報エリア支援室学群教務<[sysinfo-sekyomu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:sysinfo-sekyomu@un.tsukuba.ac.jp)>までメールで提出する。（履修登録は翌年度までできないため注意すること。）
  - (2) 2027年1月第2火曜日（祝祭日の場合は別途調整）に中間発表会を行う。
  - (3) 題目に変更がある場合、2027年3月第3水曜日までに、最終題目をシステム情報エリア支援室学群教務<[sysinfo-sekyomu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:sysinfo-sekyomu@un.tsukuba.ac.jp)>までメールで提出する。（変更がない場合には提出は不要。以後題目の変更は認められない）
  - (4) 2027年4月に「BC14918 卒業論文」（春 AB）を履修登録する。
  - (5) 2027年5月第2金曜日午前9時から - 第3火曜日午後3時までの間に、卒論を提出する（期限厳守）。最終的な論文受理のスケジュールは、掲示により周知する。
- 

### 評価基準

- (1) 研究の焦点が定まっているか
  - (2) 相応の独創性が認められるか
  - (3) 論理的整合性があるか
  - (4) 論文としての体裁が整っているか
  - (5) 先行研究を十分こなしており、適切に引用がなされているか
  - (6) 適切なデータ、資料に裏付けられているか
- 

### 卒業論文のスタイル

- (1) 使用言語            原則として、日本語または英語とする。  
他言語を用いる場合、指導教員による了承の上、学類長に許可願を提出し、学類長の許可を得ること。
- (2) 長さ                日本語の場合…16,000字以上  
（本文と注釈を含む。表紙、目次、図表、参考文献リスト、謝辞、英文要約は含まない。）

英文の場合…ダブル・スペース（A4用紙に約20–23行）で8,000 words以上  
（本文と注釈を含む。表紙、目次、図表、参考文献リスト、謝辞、日本語要約は  
含まない。）  
上記の長さは、ミニマム要件であり、上限はない。

- (3) 様式 A4版横書き。  
卒業論文の様式(A), (B), (C)に合わせること。
- (4) 提出方法 卒業論文のPDFファイルをManabaの卒業論文のコースページにアップロードする  
ことによって提出（詳細は別途通知する）

### (5) 卒業論文の構成

- ・構成要素 …下記が含まれてなければならない。  
（ただし、「あとがき」（謝辞等）については、自由である。）

日本語論文の場合	英語論文の場合
表紙	表紙
目次	目次
本文（序論・本論・結論）	（謝辞：Acknowledgements）（任意）
参考文献	本文
英訳した論文題目と英文要約	参考文献
あとがき・謝辞等（任意）	和訳した論文題目と日本語要約

- ・本文の各ページ下部にはページ番号を付し、各章節のページを目次から参照できるようにすること。
- ・目次は、章構造を示すだけでなく、それぞれの章や節のページ番号を示すこと  
（目次ページの下部にページ番号を付すかは任意）。
- ・文中の注釈(注)は、①各ページの下部（脚注）、②章ごと、③終末にまとめたの何れでもよい。
- ・付録（Appendix）がある場合は、「本文」と「参考文献」の間に付すること。
- ・表紙：下記の項目が書かれていなければならない。（日本語の場合、様式（A）を参照のこと）

筑波大学社会・国際学群国際総合学類 卒業論文  
論文題目  
年月（2027年1月）  
氏名  
学籍番号  
指導教員

- ・題目：届け出た題目と提出版の題目を「完全に」一致させること。  
副題をつける場合、日本語の場合は一（全角ダッシュ）で副題を囲み、英語の場合は：（コロン）で区切ること。  
例：卒業論文タイトル —副題—  
Main Title: Subtitle（英語の場合）

#### ・要約（Summary）

本文が日本語の場合：英訳した論文題目と英文の要約（Summary）  
本文が英語の場合：和訳した論文題目と日本語の要約

## 注意事項

### 1. 提出期限を必ず守ること。

2027年1月12日(火)午後3時以後に提出された論文は、受理されません。

### 2. 文書ファイルのバックアップは、複数保管しておくこと。

「ファイルが読めない」「ファイルが消えた」といった理由は、一切認められません。異なる機種でファイルを開いた場合、フリーズしたり消えたりすることがあるようです。執筆時にはファイルの保存はこまめに行い、バックアップは最新のものを複数とっておく自衛が必要です。(ソフトウェアには必ずバグがあります)

### 3. 決められた様式(表紙の体裁やマージンの取り方など)を守ること。

また、届け済みの論文題目と提出版の論文題目を副題の「一」「:」を含めて「完全に」一致させること。

### 4. 研究不正行為について十分に注意すること。

論文の盗用・剽窃(コピー等)を含め研究不正行為は厳禁です。

以下のURL等を参照の上、研究不正行為、特に論文の捏造・改竄・盗用・剽窃を決してしないように注意願います。うっかり盗用や剽窃をしていないか等何か不安がある場合は、指導教員に事前に相談してください。

日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編(2015)

『科学の健全な発展のために一誠実な科学者の心得一』丸善出版

<https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b294981.html>

日本学術振興会 研究公正～Research Integrity～

<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>

日本学術振興会 研究倫理 e-learning course

<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

科学技術振興機構 研究倫理 Research Integrity

<https://www.jst.go.jp/researchintegrity/approach.html>

### 5. 以下の自己チェックシートにそって様式をチェックすること

チェック項目

- 表紙の論文題目が届け出た題目と完全に一致している。
- 表紙に、学群・学類、年月、氏名、学籍番号、指導教員が正確に記載されている。
- 書式設定として、左マージン3.5cm、右マージン2.5cm程度がとられている。
- 文字数と行数の設定として、一行は35-40字程度、1ページ30行程度の書式が守られている。
- 目次が含まれている。
- 目次に、それぞれの章や節のページ番号が示されている。
- 参考文献が含まれている。
- 日本語論文の場合、英文要約(英訳した論文題目と英文の要約)が含まれている。
- 英語論文の場合、日本語要約(邦訳した論文題目と日本語の要約)が含まれている。
- 日本語論文の場合、論文が、表紙、目次、本文(序論・本論・結論)、参考文献、英文要約、あとがき・謝辞等、の順番に構成されている[あとがき・謝辞等の記載は任意]。
- 英語論文の場合、論文が、表紙、目次、(謝辞 Acknowledgements)、本文(序論・本論・結論)、参考文献、日本語要約、の順番に構成されている[謝辞 Acknowledgements の記載は任意]。
- 付録(Appendix)がある場合、「本文」と「参考文献」の間に付されている。
- ページ番号が正確に記載されている。
- 最低文字数(論文の長さ)を満たしている[日本語の場合:16,000字以上、英文の場合:ダブルスペース(A4用紙に約20-23行)で8,000 words以上]。
- 「盗用・剽窃」とみなされる研究不正行為は行っていない。

6. 1期生からの卒論は、3K棟2階のラウンジと学類事務室に保管されており、閲覧可能となっています（本件に関し、執筆された卒論は事務室で閲覧可とするので、非公開を希望する学生は事前に申し出る）。閲覧したい場合は、学類事務室に問い合わせてください。

様式 (A) 表紙の様式(日本語)

A4 用紙

←→ 3.5cm	センタリング ↓ 筑波大学社会・国際学群国際総合学類 卒業論文  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (題目)  2027年1月 ↑ センタリング  氏名：○○○○ 学籍番号：○○○○○○○○ 指導教員：○○○○	←→ 2.5cm 程度
-------------	---	-------------------

様式 (B) 表紙の様式(英語)

A4 用紙

←→ 3.5cm	<p><i>Centered</i> ↓</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>(Title)</p> <p><b>A Thesis</b> <b>Presented to the</b> <b>College of International Studies</b> <b>University of Tsukuba</b></p> <p><b>By</b> ○○○○○</p> <p><b>January 2027</b> ↑ <i>Centered</i></p> <p><b>Student Number:</b> ○○○○○○○○ <b>Supervisor:</b> ○○○○</p>	←→ 2.5cm 程度
-------------	--	-------------------

# 様式 (C) 本文の様式

A4 用紙

The diagram illustrates the layout of A4 paper with a grid of circles representing text characters. The left margin is 3.5cm, and the right margin is 2.5cm. The text is centered and consists of 10 rows of circles. The 5th row contains the characters '本文' (Main Text). Below the grid, the following text is centered:

一行は 35～40 字程度  
1 ページ 30 行程度

(英文の場合は、1 ページ  
20～23 行程度)

ページ番号